

2024 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	野口久美子
演習テーマ	アメリカの歴史と社会
校外実習	1、実施しない 2、 実施 （実施時期：2024 年 8 月）
メール・アドレス	noguchik@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜日、木曜日のお昼休み
2025 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	演習 2 では、現代のアメリカ社会を取り巻く様々なテーマについて、講読とディスカッション、個人研究報告を行う。講読とディスカッションでは、現代のアメリカ社会を知るための鍵となるテーマを取り上げ、その歴史的意味と私たちの社会との関係性について考える。個人研究報告では、卒論テーマに関する先行研究と基礎的情報についてまとめ、報告する。
学習目標	アメリカの歴史と社会を学ぶことを通して、アメリカ研究における「批判的理論」と、日本における私たちの社会とアメリカの多様な関係性を理解する。卒業論文を書くための理論的な思考方法と調査方法、説得力のあるプレゼンテーション方法を身に着ける。4 年次に向けての研究計画書を作成する。
授業計画	<2A> 1 ガイダンス 2-7 講読と議論 8-9 グループ報告 講読に基づくテーマ別の調査と報告 10-14 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 15 全体のまとめ <2B> 1 ガイダンス 2-7 講読と議論 8-9 グループ報告 講読に基づくテーマ別の調査と報告 10-14 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 15 全体のまとめ
予習	指定するテキストや卒論報告者の原稿を読み、レジュメと 500 字の要約を作成する。質疑応答やディスカッションに備える。
復習	指摘テキストを再読してゼミ内での議論を確認し、各自の卒論研究に反映させる。
授業に関する 注意事項	毎回指定するテキストや原稿をしっかりと読んで切ること。 演習 2、演習 3 の履修期間中に「異文化コミュニケーション」 「アメリカの文化と社会」を履修すること（or 履修済）が望ましい。 校外実習参加者は、別途、事前学習ゼミを実施する（火曜日お昼休み）。 学内での各種セミナーへの参加、サブゼミの開催、グループ報告準備など、

	演習時間外の活動も推奨する。
教科書	随時、指定する。
参考書	随時、指定する。
成績評価の 基準	ゼミへの積極的な参加（ディスカッションを含む） 50% 提出物 50%
関連 URL	
備考	